

奈佐木区の活性化のため コミュニティ活動備品整備

奈佐木地区多目的研修会施設敷地内に物置を設置し、会議用イス、机、イベントなどで活用できるポータブルランプとマイク、屋外用テントなどのコミュニティ活動備品を整備しました。同区春口隼人区長は、「積極的に活用し、地域の絆をさらに深めていきたい」と話していました。



設置された物置。これらのコミュニティ活動備品は、宝くじ助成金を受けて整備されました



このトランポリン用具購入事業は、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて実施しました

スポーツ振興くじ活用して トランポリン用具を整備

今年度、新しく競技用トランポリン2台と補助マット、床マットなどトランポリン用具を整備しました。各クラブチームの練習や10月に市で開催された全日本トランポリン競技選手権大会でも活用されています。市民体育館に設置されているので、ぜひ利用ください。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、野尻地区

お試し移住施設が完成しました！

移住促進の拠点となる住宅「フロンティア荘」が昨年11月に完成（野尻町紙屋）しました。野尻町への移住促進の取り組みとして、「市・商工会青年部・輝けフロンティアのじりの合同プロジェクト」を立ち上げ先進地の研修視察等を実施しながら取り組みを進めてきました。

今後は宮崎市に隣接している地の利や、野尻ならではの

魅力を発信し県内外からの移住促進と定住を取り組んで参ります。

また、野尻町に居住する皆さんが災害時にも安心して対応できる組織・地域の担い手を養成するため、輝けフロンティアのじりでは防災リーダー養成講座を組長や町内の各種団体などで活動されている皆さんを対象に2月18日（日）に計画しています。



「笑いは健康の常備薬」 介護予防フォーラム開催

12月10日、介護予防フォーラムを文化会館で開催しました。約400人が来場し、土佐の寅さんの異名を持つ間六口さんの講演会を実施。間さんは「笑いは生きる力になる。副作用のない健康の常備薬です」と話し、バナナのたたき売り芸などで会場の笑いを誘っていました。



講演する間さん。そのほか、介護予防サポーターの実践報告や一般高齢者最高齢部門ほか3部門の表彰なども行われました



同校体育館で開催された会には、保護者や関係者ら65人が出席し、生徒たちの調理した料理を味わいました

3年間の鍛錬と感謝を込めて 西高調理科成果発表会開催

11月22日、小林西高等学校調理科3年生による「学習成果発表会及び試食会」が開催されました。生徒18人が、考案した和洋中の40品を披露。同校3年の孝橋優希さんは「たくさんの人に食べてもらえて嬉しい。厳しい指摘なども受け入れながら、成長していきたい」と話していました。

小林秀峰高の人権学習とコラボ 人権啓発講演会を開催

12月12日、人権啓発講演会が開催されました。今回、初めての試みとして、小林秀峰高校の人権学習とコラボして開催。同校全校生徒、教職員、保護者や地域住民など約800人が来場し、全国を駆け巡る一人芝居演者福永宅司さんが「君をいじめから守る」を講演し、会場は感動に包まれました。



熱演する福永さん。来場者からは、「心にしみた」、「感動し涙が止まらなかった」、「中学生にも聞かせてあげたい」と好評でした



今回の研修は、「 Bangladesh 国公共投資管理強化プロジェクト」の実効性を高めるための技術協力支援として行われました

Bangladesh 政府職員が 市の行政経営を視察研修

12月11日、 Bangladesh 政府職員が「第2次小林市総合計画を中心とした行政経営システム」を視察研修しました。これは、JICAが行う訪日研修の一環。同国計画省計画局次官のモハマド・ジアウフ・イスラムさんは「今回の研修の内容を自国で情報共有し、参考にしたい」と話していました。

